人工膝関節置換手術を受けられる方へ

日付		/	/	/ ～ /	/	/	/	/
経過		手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目～10日目	手術後11日目	手術後12日目	術後13日目	術後14日目
治療	測定	体温、脈拍、血圧を測定します。						
	安静度	ベッドは朝ごはんの際に看護師が起こします。 手術した足は体重をかけてもいいので、午前中に車椅子に乗ります。	リハビリに合わせて車椅子➡歩行器歩行➡杖歩行➡何も使わず歩行となっていきます。					
	処方	痛みがあれば痛み止めの内服や坐薬を使用します。		採血の結果次第で化膿止めの薬を飲み始めます。				
	注射	化膿止めの点滴をします。	化膿止めの点滴をします。					
	リハビリ	リハビリテーションを開始します。歩行訓練、筋力トレーニングを中心にリハビリを毎日（土、日、祝日は休み）行います。						
処置		医師の指示に従い血栓症予防のためフットポンプを装着します。	医師の指示があれば弾性ストッキングを脱ぎ、フットポンプを外します。					
		機械の管を医師が抜きます。	適宜ガーゼ交換をします。					
		術後初めてベッドから車いすに乗る際に尿を出す管を抜きます。 管を抜いて初めての尿は量や性状を見るために検査トイレで看護師が確認します。	週1回程度のレントゲン撮影、採血があります。					
		手術後は創の周囲は腫れたり熱を持ったりするので積極的に冷やしてください。医師の指示に従って膝の曲げ伸ばしをする機械をリハビリとして病棟で行っていきます。 （70度から開始して、1日5度～10度角度を上げていきます。）						
食事	朝	・朝ごはんの際にお腹の動きを確認し水分・食事の許可がでます。 ・飲み、食べ始めはむせる恐れがあるため看護師が見守ります。						
	昼							
	夕							
清潔		ベッドの上で体を拭いて病衣を交換します。		体ふきやシャンプー、足洗いは適宜行います。	創がきれいになり、創口をとめている針が抜ければガーゼをとり、シャワーが可能になります。			
説明その他							退院の目安は、手術後約2週間で、杖で歩行できることです。それ以上リハビリが必要になる場合は、転院してリハビリを継続します。	退院の説明をします。 外来受診予約票をお渡します。

※治療内容、入院期間については状態に応じて予定が変更される場合があります。

福井大学医学部附属病院　A棟北6階　2018年12月作成